

県内学級担任紹介

日々、児童生徒のよりよい成長を願い、魅力溢れる授業実践や学級経営を行っている先生方を紹介します。その先生が日々の授業や学級経営を行う上での根幹となっている考え方、またよりよい実践のためにどのような工夫をしているのか、その秘訣も紹介します！

学校名： 袖ヶ浦市立奈良輪小学校



担任名： 鈴木清美
教員経験： 37年

(令和4年5月1日現在)

学級経営で取り組んでいることや「やりがい」

クラスは小さな社会。集団の中だからこそ学べることが数多くあると思います。集団から個が育ち、個によって集団がさらによいものになっていくのではないのでしょうか。

授業で心掛けていること

自分の考えを持てたらOK。間違えても構わない。それが次の一歩に。新しいことに挑戦するわくわく感や成長できた喜びを子どもたちが感じられるように、日々精進です。

私の好きな「こ・と・ば」

「為せば成る」反省ばかりの毎日ですが、この言葉を胸に自分を励まし続けています。

【毎日がチャレンジ】

昨年度から導入されたタブレット。悪戦苦闘の毎日ですが、だからこそ、面白いし楽しいと感じています。

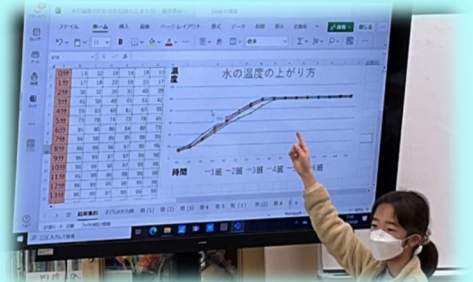
どの場面でどのように使えるかを考えて活用していますが、いつも効果的だとは限りません。その都度、授業を振り返りながら反省し、さらに前進できるように学んでいます。

今年度は、国語では班の調べ学習と発表に、社会科ではワークシートを併用しながら調べ学習とそのまとめに、道徳ではノート代わりに使うなど、いろいろな教科で活用しています。理科でも大活躍でした。

タブレットを使うことで、意欲的に取り組める児童が増えてきました。



国語「調べてわかったことを発表しよう」
～パワーポイントにまとめて～



理科「すがたを変える水」
～各班の温度のグラフから～